作成資料

コマンドラインについて

　コマンドライン自体は「serial\_test\_08」にて正確なやり取りに成功した。

　なぜここまでテストに問題が生じたかというのを以下に書いていこうと思う。

　まず最初にして最大の難関は、文字列のやり取りになると思う。

　シリアル通信でarduinoとPC間で文字列を送受信するコマンドラインだが、「serial\_test\_05」辺りを見てもらえると分かるが、「Serial.read()」を用いて一文字ずつ読み取りを行おうとしていた。

　ただ、これをした場合、原因は不明だが正常に処理することが結果としてできなかった。

　そのため、基本的には「Serial.readString()」もしくは「Serial.readStringUntil()」を用いることを推奨する。

　今回の文字列のやり取りでは「Serial.readStringUntil()」使用しているが、理由はarduinoのシリアルモニタを使用し文字列を送信すると、必ず文字列の最後に「\n」という改行文字が送られるため、これを起点にコマンドの取得をするのがシンプルに記述することができたからである。